

ことばこだより

令和6年6月号
足立区立中川東小学校
校長 豊田 純子
ことばときこえの教室

季節は梅雨の6月を迎えました。日中は蒸し暑く、汗をかく子供たちの姿が多く見られるようになりました。お子さんの体調管理には十分気をつけて過ごしてください。

さて、この時期に運動会が実施される学校が多いようです。「今年はリレーの選手になったよ。」「運動会で優勝したい。」など、通級時に子供たちがたくさん話をしてくれたり、担当者前でダンスを披露してくれたりしています。ことばときこえの教室では、日々の出来事や身近な話題について話したり、相手の問いかけに応えたりすることを大事にしています。また、話し方にとらわれずに楽しい会話や活動を通して、人とやりとりすることばの力を育てていきたいと考えています。

・・・6月の予定・・・

- 6月 4日（火）城東ブロック会（午後）
- 5日（水）校内研究会（午後）
- 11日（火）都難言協専門研究会（午後）
- 12日（水）区小研（午後）
- 17日（月）宮本昌子先生 専門家診断 *午後の通級はお休み
- 19日（水）小中連携日（午後）
- 25日（火）都難言協通級指導研究会（午後）

・・・7月の予定・・・

- 7月 2日（火）城東ブロック会（午後）
- 3日（水）校内研究会（午後）
- 4日（木）在籍学級担任会 *午後の通級はお休み
- 8日（月）ことばグループ 15:30～
- 9日（火）都難言協専門研究会（午後）
- 10日（水）区小研（午後）
- 12日（金）ことばグループ 15:30～
- 17日（水）通級終わり
- 18日（木）専門家診断（午後）
- *7/20（土）～8/31（土）夏季休業日

ことばときこえの教室の「専門家診断」とは？

*ことばときこえの教室では、年に数回、発音やことばの発達、吃音など様々な分野の専門家の先生（医師や大学教授など）をお招きして、実際に子供の様子を見ていただいています。先生から子供の指導や支援などについてアドバイスを受ける貴重な機会でもあります。以下、先生方からいただいたアドバイスを一部紹介します。

① 発音、舌の運動に関するアドバイス

- 発音の誤りを言い直しさせるより、正しい発音を聞かせることが大切。
そうすることで、音を聞き分ける力が育ち、自分の発音の誤りにも気付けるようになる。
- 舌の筋肉を高めるためには、よくかんで食べることが大切。よくかむことによって食べ物を舌の上に乗せて左右に運んだり、舌で食べ物をまとめたりしながら舌をよく動かすことができる。ガムやアメをかんだり舐めたりする練習もよい。
- 最近は柔らかい食べ物が多く、よくかまずに飲み込んでしまうことが多い。かむことを意識して育てなければならない時代になってきている。「よくかむのよ！」と言うだけでは、かむ習慣は身につかない。例えば、「かみかみ競争をしようか？」と声をかけ、家族で楽しみながら取り組んでみる。また、家族で20回かむなど「かみかみルール」を決めて、楽しく食事をしながら家族でかむ習慣を自然に身につけられるとよい。

② ことばの発達に関するアドバイス

- ことばを増やすためには、ことばのイメージをもてるようにすることが大切。「連想ゲーム」や「本や地図を見てもよい しりとり」など、ことば遊びを通して子供と楽しみながらことばを増やしていく。
- 子供の話の内容が分かりにくい時は、ことばの表現の足りない部分を推測しながら聞く。また、分かったことを正しい文にして返してあげるとよい。そして、子供が話したいことを楽しんで話せる雰囲気を作っていく。

③ 吃音に関するアドバイス

- 吃音が出ても「最後まで伝えられた」という経験が大切。また、「話し方」よりも「話の内容」に耳を傾けて、受容的に最後まで話を聞くようにする。ゆっくりした口調でやりとりすると、安心して話すことができ、コミュニケーションを楽しめる子に育つ。
- 「落ち着いて」、「深呼吸して」、「ゆっくり言ってごらん」、「もう一度」という声かけは、必要以上に自分の言葉を意識することにつながり、吃音を悪化させてしまうこともある。
- 吃音は、周囲が「知ること」から支援が始まる。吃音があることを否定せず、自分らしく学校生活を送れるよう、周囲が「理解すること」が大切。